

最新の冷媒問題への対応と展望 2025

※2025年度の最新情報です!【集合式】&【オンデマンドWEB配信】

主催：(公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会

協賛：(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一財)日本冷媒・環境保全機構

開催日：集合型 2026年2月27日(金) 10:00-16:40 (受付9:15-)

場所：早稲田大学(西早稲田キャンパス 55号館 第二会議室)

定員：50名 ※集合型への参加登録者は後日オンデマンド配信もご視聴いただけます。

オンデマンド配信予定：2026年3月4日(水)~3月25日(水) 定員なし

パリ協定、モントリオール議定書キガリ改正のHFC削減スケジュールを実現するためには、微燃性冷媒や自然冷媒を積極的に活用していく必要があります。

2020年10月には、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、2021年4月に開催された気候変動に関する首脳会議(サミット)において、温暖化ガスの排出削減目標を13年度比で46%減を目指すとの表明がありました。更に、2025年2月に地球温暖化対策計画が閣議決定され、世界全体での1.5℃目標と整合的で、2050年ネット・ゼロの実現に向けた直線的な経路にある野心的な目標として、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減することを目指す、新たな「日本のNDC(国が決定する貢献)」を、気候変動に関する国際連合枠組条約事務局(UNFCCC)に提出しました。今後、更なる新冷媒の検討が必要となる状況であり、今回はこれらの取組み状況と将来展望について紹介します。皆様ふるって参加されますようご案内申し上げます。

1 基調講演

1.1	冷凍空調用冷媒をめぐる最近の状況と展望(仮)	赤坂 亮 九州産業大学 理工学部 機械工学科	10:00- 11:00
1.2	フロン政策の動向(仮)	飯野 暁 環境省地球環境局地球温暖化対策課フロン対策室	11:00- 12:00

2 冷媒問題への対応

2.1	燃焼性を有する冷媒のリスクアセスメントの方法(仮)	山下 浩司 空調冷熱技術研究所	13:00- 13:35
2.2	フロン排出抑制法指定製品制度の目標値及び目標年度	佐々木 俊治 (一社)日本冷凍空調工業会	13:35- 14:10

3 次世代冷媒・機器開発の状況

3.1	自然冷媒を採用したビル用マルチエアコンの開発(仮)	澤渡 一哉 ダイキン工業株式会社	14:10- 14:45
3.2	CO2大型ユニットの開発と納入事例(仮)	池田 将樹 三菱重工冷熱株式会社	14:55- 15:30
3.3	低GWP冷媒を用いた産業用蒸気生成ヒートポンプの開発(仮)	佐々木 健太 株式会社前川製作所	15:30- 16:05
3.4	冷凍機油の低GWP冷媒対応技術と基盤研究(仮)	高木 智宏 ENEOS 株式会社	16:05- 16:40

※講演者、プログラム等は予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

参加費(税込)：本学会と協賛団体の会員 18,000円 冷凍技士 10,000円 非会員 25,000円

会員学生 2,000円 非会員学生 4,000円

※ 集合型も、オンデマンド配信型(講演ビデオ視聴型)も参加費は同額です。

※ 集合型に参加登録を頂いた方は、オンデマンド配信の動画視聴も可能です。

※ オンデマンド希望の場合は予め【[視聴環境確認ページ](#)】より、テスト動画が再生できることを必ずご確認ください。

申込方法：本セミナーは冷凍CPD会員登録者のみ受講できます。

未登録者はホームページより「冷凍CPD会員」登録後にセミナーにお申し込みください。

集合式の申し込みは学会ホームページ(下記URL)から開始し2月20日に締め切る予定ですのでお早めにお申し込みください。(参加費のお支払い期限：2月末日)

申込URL → <https://jsrae-edu.org/>

備考1：受講する為には、冷凍CPD会員の登録が必要となりますが、登録は無料です。

備考2：申込完了後に届く自動メールから「請求書」がダウンロードできます。

セミナー参加費の振込先銀行口座は請求書に記載されています。

備考3：お振込み確認後、或いはクレジット決済で申し込まれた方には「領収書」を自動メールで

お送りします。領収書も請求書と同様にWEBにてダウンロード、印刷できます。

この領収書は従来のセミナー・見学会参加券同様、5枚集めることで年次大会へ1名無料で

参加することが出来ます。(有効期限：セミナー開催日から3年間)